

農業普及だより

第12号

新年あけまして
おめでとうございます

尾張農林水産事務所農業改良普及課（尾張農業普及指導センター）

住所 〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

電話 （担い手育成グループ） 052-961-8094・1426

（技術指導グループ） 052-961-8750

（野菜・花き指導グループ） 052-961-8093

FAX 052-961-1540

e-mail owari-fukyu@pref.aichi.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/nourin-owari/>

稲沢駐在室（技術指導グループ、花き・果樹指導グループ）

住所 〒492-8212 稲沢市小沢二丁目13番地3号

電話 0587-21-2511 FAX 0587-21-7853

e-mail owarinishi-fukyu@pref.aichi.lg.jp

都市と共存できる牧場を目指して

都市化の進む管内で、地域と共存しながら酪農経営を営む「牧場みずの坂 west hill」をご紹介します。

木下健保氏が営む「牧場みずの坂 west hill」は、瀬戸市内のニュータウンの一角にあります。平成元年に、この地域で住宅開発事業計画が決定された当時、環境問題が常につきまとう畜産農家は地域外への移転を強く勧められました。



小学生の体験学習の様子

しかし、木下氏は、あえて、この地域での酪農経営の継続を選択し、そのために「都市の一部として共存できる牧場」、「住民にとってかけがえのない安らぎの場になれる牧場」の実現を目指しました。観光牧場としてではなく、あくまでも生産現場としての「開かれた牧場」であり続けるため、酪農教育ファームの認証を受け、①地域住民への牧場開放、②小中学校における食育や職場体験学習の受

入③移動動物園など、様々な取組を行っています。

生産者と消費者の距離を縮め、消費者の酪農に対する理解を深めるための様々な取組、自然豊かな景観と動物のいる心安らく環境作り、臭いやハエの発生のない酪農経営を実現している成果を本年度「日本農業賞・特別部門 食の架け橋賞」に推薦し、皆さんに広く紹介しました。



経営主の木下健保さん



GAPの定着 ～JA愛知西なす協議会～

JA 愛知西なす協議会（協議会員 49 名）では平成 22 年度作より GAP に取り組み、「冬春ナス GAP シート」による点検を実施しています。シートは前期分の 10 月～3 月分を 4 月に、後期分の 4 月～7 月を栽培終了後に回収して集計し、改善すべき事項などを検討しています。

平成 23 年度作からは、シートに「労働安全」と「自己点検」に関する項目が追加され、防除に関する取り組み内容も修正されました。

こうしたGAP手法など消費者から信頼される産地の取り組みを、普及課では今後も支援していきます。



「道の駅瀬戸しなの」来場者は順調

平成23年3月26日に瀬戸市品野町において「道の駅瀬戸しなの」がオープンしました。

道の駅には地域振興施設である農産物直売所、レストランが併設されており、地域農産物等の販売、地域農産物を利用した食事が提供されています。オープン当初から多くの来場者があり、オープン後わずか2カ月弱で1年間の目標来場者数17万人を超え、現在でも地域農産物を買求める人などで賑わっています。

農業改良普及課では、直売所への出荷者に対する栽培講習会等の開催を支援し、地域農産物の生産振興に努めています。



平成23年度新規認定者紹介

平成23年11月22日に、岡崎市の農業大学校で認定式があり、今年度新たに農業経営士6名、農村生活アドバイザー3名、青年農業士1名の方々が認定されました。

農業経営士



小塚 繁広さん
名古屋市 施設野菜



小川 富義さん
一宮市 露地野菜



武田 金之さん
一宮市 施設野菜

農村生活アドバイザー



鬼頭 豊子さん
小牧市 果樹



山田 教子さん
稲沢市 花き



三輪 真太郎さん
一宮市 花き



寺尾 孝司さん
稲沢市 花き



鈴木 康人さん
岩倉市 花き



石川 万里子さん
豊明市 野菜・果樹



内藤 丈裕さん
稲沢市 花き

青年農業士